

愛知の幻のお米「ミネアサヒ」100%の手作り五平餅 株式会社つぐや（北設楽郡設楽町）

事業者概要

- 所在地：愛知県北設楽郡設楽町津具字用留61
- 代表社員：村松 憲治
- 就農年：2009年3月（株式会社設立年：2021年3月）
- 雇用者数：常時雇用7名、臨時雇用23名



五平餅

取組概要

- 【生産（1次）】 田4.6ha（品種：ミネアサヒ）
- 【加工（2次）】 五平餅（地元産ミネアサヒ100%）
- 【販売（3次）】 五平餅販売、食堂の運営



設楽町津具地区の水田



ミネアサヒ



五平餅



五平餅のたれ
秘伝のくるみダレ

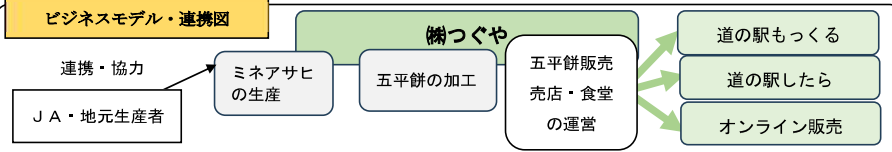
取組までの経緯

- 2015年 「道の駅もつくる」で、五平餅販売開始
- 2021年 「道の駅したら」で、五平餅販売と食堂、売店の運営

取組の特徴、強み

- ・ 田んぼがある設楽町津具高原は寒暖の差が激しく、キレイな水が流れているため、香り豊かで甘く美味しいお米が育つのが特徴。主に愛知県の山間部で作られている幻のお米「ミネアサヒ」を栽培し、五平餅にしている。
- ・ ご飯を練って丁寧につぶし、一本一本手作業で仕上げ、もちもちと柔らかく美味しい五平餅になる。
- ・ 醤油と味噌をベースに、ごまやくるみをたっぷり入れたコクのある手作りの秘伝のくるみダレを使っている。

ビジネスモデル・連携図



取組の課題

- ・ 耕作放棄地が拡大している。
- ・ 雇用者の高齢化に伴い、五平餅の生産工程を見直しが必要。
- ・ 新たな販路の開拓が必要。

課題解決の方法

- ・ 地域の耕作放棄地対策として稲作経営と製造事業での雇用拡大による地域社会への貢献。

取組の効果

- 売上 取組前のおよそ4倍
- 雇用 常時雇用6名→常時雇用7名、臨時雇用23名



愛知の幻のお米「ミネアサヒ」

今後の展望

- 販路の開拓と、生産工程の改善により、事業の継続と収益性の向上を図る。



手作りで五平餅を作っている。



「ギフト」くるみダレ五平餅6本セット

取組者のコメント

地域のソウルフード「五平餅」は、まさに6次産業化です。